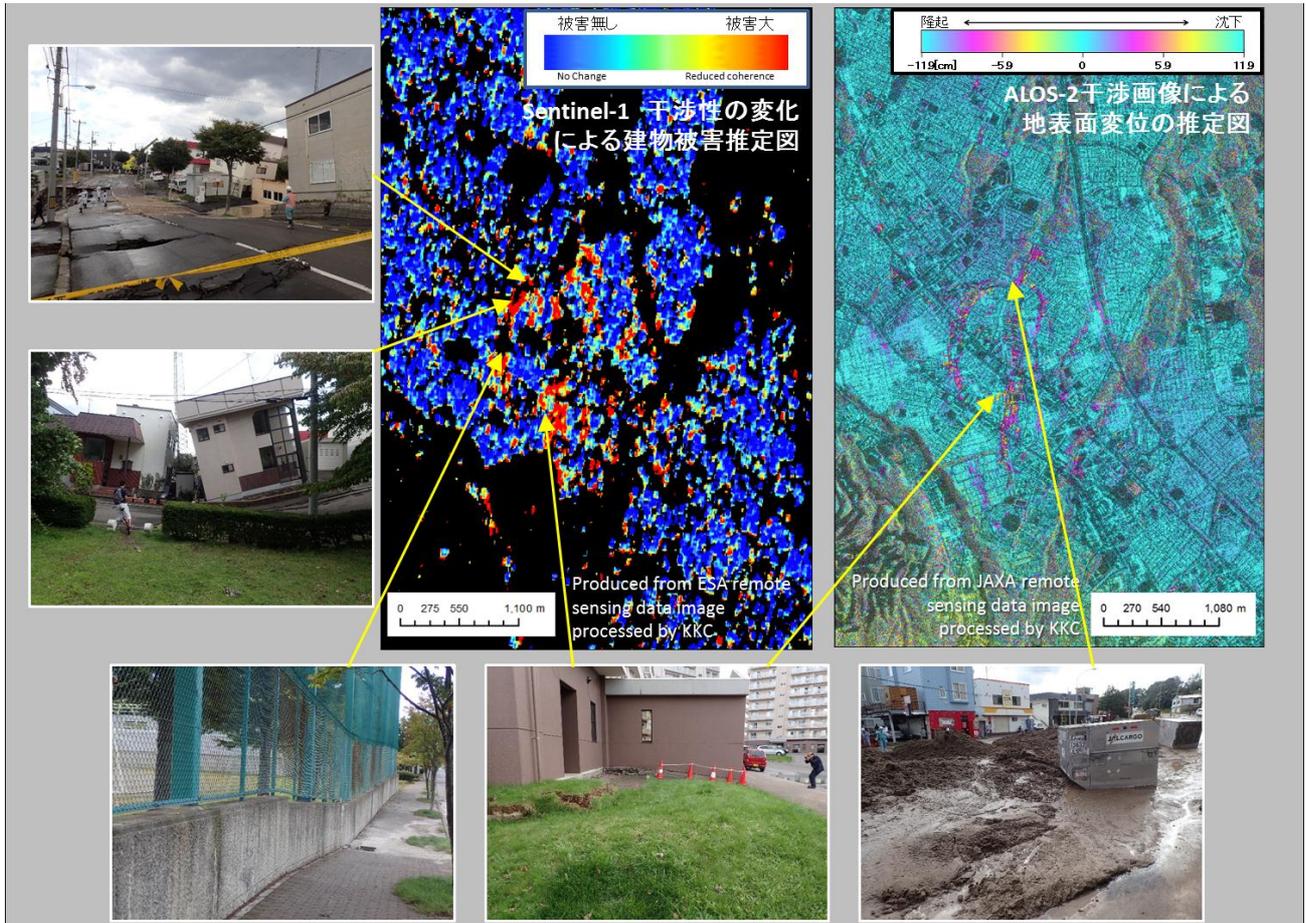


技術紹介：衛星 SAR や航空レーザ計測データを用いた  
地震時の家屋・地盤被害の把握技術（本文 24～25 ページ参照）



口絵写真-1 衛星SAR画像解析を用いた札幌市清田区の液状化による被害の範囲推定(各衛星画像の範囲は同じ)  
Sentinel-1衛星の画像の干渉処理では、地震前のペア及び地震前後のペアの干渉性(コヒーレンス)の比を算出し、干渉性の低下から表面形状の変化が大きいと判定する(例:地盤・路面の変形, 建物の全壊・半壊, 瓦の落下等々)。ALOS-2衛星の画像処理では、衛星視線方向の距離の変化を地震前後のペアの干渉処理から判定し、隆起・沈降・側方変位などを推定する。干渉性の変化及び地表の変位程度が大きいと判定された箇所では、道路や宅地の造成盛土部分に、数cm程度の沈下や斜面下方に向かう側方移動が観察された。